

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康） ◆たしかな考え（理性・認識） ◆ゆたかな心（感性・情緒） ◆よき仲間（協調性・社会性）



るんびに0歳児くらすだより

♪小さな探検家♪

～お友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じています～

令和5年6月27日（火）

文責 田代 美穂

日によって蒸し暑かったり、急に空が暗くなり雨が降ったりと梅雨らしい天気が続き、子ども達も体調を崩しがちのようです。健康に気をつけ元気に梅雨を乗り切りたいと思います。

部屋の中に大きな鏡を置くと興味津々でハイハイで近寄ってきた子ども達。「これなあに？」と、とお～つても不思議そうに鏡に映った自分の姿をじっと見つめていました。鏡の向こうに誰かお友達がいると思ったようで、鏡を触って見ますが触れることが出来ず何度も鏡を触って試したり、鏡の後ろを覗いたりして不思議顔の子ども達。そんな中、名前を呼ぶと鏡越しに私と目が合い、またまた不思議そうに私と鏡を何度も見返したり、にっこりかわいい笑顔をみせてくれました。鏡に映ったものが不思議ではないのでしょうかね。



最近の子ども達は、お友達の行動が気になり、お友達のそばに寄っていき「なにしてるの？」「わあたのしそ～うなことしてる♪」と一緒に同じ遊びを楽しむ姿が増えてきました。お部屋の中でも、おもちゃ箱をひっぱりだしたり、机の中へこっそり潜っていき「これなんだろうね」と探索遊びに興味津々な子ども達です。こはるちゃん、はやとくん、ゆいとくんは数歩“あんよ”が出来るようになり、園庭など広い場所では体を動かすことを楽しんでおり嬉しい成長が日々見られています。しょうまくんは寝返りであちこちと移動できるようになりおもちゃを見つけると嬉しそうに手を伸ばして触ったり振ったりと興味がいっぱいです。

小さい隙間に入ってみたり、目についたものへ寄っていき触ってみたりと子どもは小さな探検家ですよ。 「なんだろうな？」「さわってみたい！」「もっとやりたい」という興味をきっかけに自ら行動します。一見わがままやいたずらにしか見えないかもしれませんが、それは子どもにとって好奇心や探求心の芽生えにほかなりません。そんな好奇心や探求心を大切にしながらやりたいことを好きなだけ繰り返せる環境を整えていきたいと思っています。



★新しいお友達★ はしぐち こはるちゃん



笑顔のかわいい女の子が入園して、ますます賑やかになりました。こはるちゃんは、何もつかまらずに立ち上がり散歩のあんよを楽しんでいます。どうぞよろしくお願ひします。



★お知らせとお願い★

- ・7月に入るとプール遊びが始まります。気温、子ども達の体調を考えながら進めていきたいと思ひます。0歳児は部屋のベランダや園庭に小さなビニールプールを出し、ぬるま湯をためてあそびます。開始日などについてはまた後日お知らせします。
- ・手足の爪が長くなっていませんか？自分やお友達に爪で傷をつけることがあります。水遊びも始まりますのでこまめにチェックして爪を切るようにお願ひします。

~~~~~  
 苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 黒木 美紀 解決責任者 園長 假屋 由美子

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482 - 6172) 横峯 友理子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)